

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 10月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3495000048		
法人名	有限会社 ヒサオカ		
事業所名	グループホーム 能美いこいの里		
所在地	広島県江田島市大柿町小古江684番地3 (電話) 0823-57-0040		
自己評価作成日	平成29年8月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3495000048-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年9月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様一人一人の思いを大切にし集団レクリエーション、個別レクリエーションなどを実施し、その方に合ったコミュニケーションを心掛けています。利用者と関われる時間を少しでも多く持てるように、職員一人一人が意識して日々の仕事に取り組んでいます。毎月、職員が考案した季節行事を開催。今年より家族様も一緒に参加して頂ける行事も再開し、利用者様、ご家族、職員の親睦を深めていけるよう努めています。また、江田島市の主催する研修や福祉施設の交流会にも積極的に参加をし地域との密着をより良くできるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

季節ごとの行事を大切に、職員がアイデアを持ち寄り施設理念にもある”楽しい人生を過ごせる家庭的な暮らし”を目指し、利用者全員が無理なく参加出来るよう工夫している。事業所が位置する市町は、介護に関する支援が厚く研修や交流に留まらず、事業所との連携が積極的に持たれている。その結果、事業所は地域住民との関わりも多く、例えばボランティアで合唱のため事業所を訪れた地元小学校の生徒たちは、日頃の生活の中で高齢者との触れ合いが少ないため、利用者の思いが上手く伝わらないこともあり学校長より今後も訪問の機会を増やしたいとの申し出を受け、利用者や家族の許可を得て、交流を行いながら社会貢献が出来る様、職員は利用者と共に楽しみながら取り組んでいく姿勢が伺える。

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	施設理念は夕方申し送り時に唱和し意味と意義を共有している。又、施設理念とは別に職員全員で作成した3か条を朝の申し送り時に唱和しケアの方針として実践につなげていけるよう努めている。	施設理念の「生きがい、尊厳の重視」や職員理念である、「尊敬と感謝の気持ち、助け合い、自分らしさを大切に」を管理者と職員は立ち止まって見直しを行った。その結果、二つの理念はこのまま継続する事で、サービスの意義を共有し実践に繋げるよう努めている。	理念の意味合いを、管理者と職員は、同じ様に理解し説明できるためには、今後は外部研修に留まらず、内部研修も行う等、更なる理念の共有に期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近隣の方とは事業所の畑を通じて意見交換や交流を図っている。その他地域の催し物への参加や、ボランティアの方との交流も定期的に行うようにしている。	事業所には、ボランティアのひよっとこ踊り保存会の本格的な踊りや、合唱クラブの子供たちなどの訪問がある。日常の買い物も、近隣のスーパーや専門店（花屋・家電店）に出掛けたり、玄関前の畑では近隣住民が草取りや、自宅で収穫した野菜等を貰ったりしながら交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では、高齢福祉課や地域包括支援センターの職員と連携し、ご家族や地域の方に向けて認知症高齢者の理解と支援方法を伝え、意見交換を行っている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者様の状態、利用状況、行事などの報告を行っている。また、現在取り組んでいるサービスの内容や困難事例等を説明し、参加メンバーから頂いた意見を参考に実践、報告を行っている。	会議は、いこいの里と共同で定期的に行われている。会議の内容は事業所の運営状況等、細部に亘り報告・説明されている。更には出席者が、その時期にあったアドバイスを始め、アイデア等も活発に意見交換が行われ、サービスの向上に寄与している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険制度の内容や、事業所が抱えている問題などの相談以外にも、市が推奨する取り組みや、職員のスキルアップ研修等に参加し関係を築いている。	市町が主催の、「ケアプラン検討会」に参加し、介護関係者が研修・交流を通して情報交換を行い、協力関係を築く努力がされている。また事業所は市町に相談をしながら、更なるケアサービスに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠については日中のみ開放。転倒・転落の危険がある階段のみ常時施錠を行っている。職員に対する身体拘束の禁止の周知としては、全体ミーティング等で内部研修を行い理解したうえで利用者様のケアを行うようにしている。	職員は、身体拘束をしないケアの大切さは研修、会議等で把握している。例えば帰宅願望の利用者には、外出を拒否するのではなく、職員と共に散歩をすることで穏やかになる等（非代替性）取り組んでいる。言葉によるスピーチロックにも気配りを行い拘束しないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体ミーティングではマニュアルに沿った虐待防止の内部研修を行っている。職員一人一人が意識してケアを行い、職員同士が相互に注意し合える関係を築いている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。	管理者や計画作成担当者が社会福祉協議会の担当者と連携し、対応するようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、契約書と重要事項説明書の説明を行い、利用者様・ご家族の不安や疑問に対しても納得して頂けるように説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の要望には、訴えがあった時にその都度対応している。ご家族様からは面会時や電話連絡により要望を頂いている。運営推進会議を通じ外部へ発表すると共に要望を添えるように努めている。	日頃から家族の意見や要望は、来所時に気軽に話せる様配慮されている。来所が困難な家族には、通信手段を使い広く意見を聞く機会を設けている。家族の意見の一つに今年は利用者のみで、花見時に仕出し弁当を楽しんだが、来年は家族会で花見弁当を共に楽しみたいとの要望に、真摯に取り組む姿勢がある。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者や管理者は職員の提案や意見に耳を傾けるように努め、ミーティングでも意見を聞くようにしている。提案等は職員全員で話し合い、できる限り反映している。	運営に関する職員の意見は、その都度ミーティングや申し送り時に、管理者と共に話し合いを重ね、提案を反映出来る様取り組んでいる。また管理者は他のホームや経営者と話し合う機会が確保されており、職員の意見が運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員は仕事の役割を持っている。また、担当する利用者様のケアプラン原案作成などに関わり、意見や提案が反映されることで意欲的に仕事に取り組むことができている。代表者は自己評価と実績を考慮し、給与等で反映するようにしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	代表者と管理者は職員一人一人の経験や力量を、向上心を把握しその職員に合った外部研修に参加できるように努めている。全体ミーティングでは様々な福祉・医療の勉強会を行い、職員のスキルアップに繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他施設や医療機関のスタッフと交流し、意見交換や情報交換を行い、サービスの質の向上に繋がるように努力している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接にて、ご本人やご家族に聞き取り調査を行い不安なことや困っていることなど、要望を把握した上でサービス計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接時と契約時にご家族の要望を聞き取り、不安を取り除くように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者様の現在の状況を把握した上で要望や必要なサービスがどこまで行えているかを説明している。場合によっては他のサービスや医療機関の利用が必要になることも説明し、理解して頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様に対しては人生の先輩として敬意を表した上で、馴染みの関係になれるように接し家族のような雰囲気の中で過ごして頂けるように、職員一人一人が意識して関わりを持つようにしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族参加型の行事を開催するなど、いつでも施設へ足を運んで頂けるような雰囲気作りを行っている。ご家族と職員が一緒となって、利用者様を支えていけるように協力をお願いしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの商店や美容院、医療機関を望まれた場合は、希望に添えるように対応している。施設を開放しご家族だけでなく、友人等にも足を運んで頂いている。</p>	<p>利用者の多くが島の住民で、馴染みの人や場所が多い。お盆や正月には家族と外出したり、外泊する事もある。日頃は馴染みの理・美容院や専門店に出掛け、途切れない関係が続いている。また利用者の知人が事業所に訪問し、他の利用者とも馴染みの関係が有り、職員は関わりを大事にしながら支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士が関りを持てるようにレクリエーション活動等を行っている。施設内での馴染みの関係性もでき、利用者様同士が支え合い協力している場面が多々見受けられる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	在宅に戻られた場合でも担当のケアマネと連携をとり、必要に応じて情報提供する等の協力をしている。退所が決まった場合でも希望された場合には、別の施設や医療機関と一緒に探す協力をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中から、思いやりやニーズを把握し支援を行っている。意思を伝えることが困難な利用者であってもご家族からの情報や日々の状況を考慮し、安心して過ごして頂けるよう支援を行っている。	利用者の思いや希望を把握するために、入所時に基本情報を記録し、ケアプランや日々の暮らし方に役立てている。希望の把握が困難な場合は、介護日誌や申し送りノート等で情報を共有し、利用者一人ひとりのニーズに合ったケアサービスに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接ではご本人・ご家族から、これまでの生活歴や生活環境等を伺い、担当ケアマネや医療機関のスタッフ等からも、在宅時のサービス利用状況や診察状況等の情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日中・夜間の状態を記録し、職員全員で共有し把握に努めている。必要時には再アセスメントを行い、常に状態の変化とニーズに対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>御本人の意見は勿論、ご家族の希望や意見の他、医療機関の関係者から得た情報を分析し、計画作成担当者と担当職員とで話し合いを行いサービス計画作成及び評価、見直しを行っている。また、今年度より江田島市が主催する研修会にも積極的に参加しケアプランがマンネリしないように努めている。</p>	<p>介護計画に必要な情報は、家族が核となりしっかり利用者の希望等を聞き取り、現状に添った計画を立てている。職員は、モニタリングの立て方や、ケアプランの作成、見直し方法を外部研修や会議を通して実践に繋げる努力がされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日24時間タイムスケジュール形式で経過記録を残している。特変者は日勤日誌や夜勤日誌にも転記し職員全員で情報の共有と状態の把握に努め、サービス計画作成時やモニタリングを行う際に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの状況の変化に応じて、柔軟な対応ができるように努めている。その際は御本人、ご家族に相談し、ニーズや意見を伺うようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>医療機関・ボランティア・馴染みの商店など、その方が生活していく上で全て生活資源と捉え、継続して関わることが出来るように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の大半は隣接した協力医を主治医とされているが、希望により馴染みの医療機関を継続されている方もおられる。主治医からの専門医受診の勧めには御家族と協力体制をとり通院介助を行っている。医療機関には必要に応じ情報提供を行うなど適切な医療が受けられるように日頃より連携を図っている。</p>	<p>当事業所のかかりつけ医は、すぐ傍にある協力医院で、認知症に対する理解が深い。利用者の殆どがこの医院を受診しており、24時間体制で支援を受けている。内科専門医のため、必要に応じて他科医療機関と連携を取り、安心した医療が受けられる様支援されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	体調の変化や疾病の悪化が見られた時には看護職員に報告。必要であれば受診の手続きをとっている。看護職員不在時でも電話連絡により、状態の報告・相談及び指示を受けることができる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当医や看護師、相談員と連絡を取り合い、現在の状態や入院期間などを確認している。退院できる見通しができた時点で、帰所後も不安なく生活が送れるように、職員全員でケア方法の話合いを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医療施設同様の対応は難しいとのことを契約時に説明している。その上で看取りを希望された場合には、主治医と相談の上、できる限りの対応を行っている。その際には主治医からご家族様に、現在の状態と今後予測される変化、医療が行える限界などの説明をして頂いている。	重度化した場合、事業所は医療行為は一切行わない方針で、家族等には入所時に説明を行い同意を得ている。その為重度化した場合は、殆どの利用者は適切な施設や医療機関に移っている。職員は看取り経験が余りないが、研修等通してチームで支援出来る取り組みは確保されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時に対処するマニュアルを作成し職員全員に周知し、全体ミーティングでも看護職員を中心に応急処置法や対処法の勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防計画に基づき、年2回避難訓練を行っている。また、協力医療機関や近隣の方にも災害発生時の連絡網を配布し、協力体制を築いている。	毎年1回地域の防災訓練に、職員が交代で参加している。事業所でも避難訓練を年に1度行っており、内部研修も合わせて実施している。近隣の施設とも協力体制を築き備蓄も確保されている。	防災に対する取り組みは有るが、避難訓練等、事業所のみで行うのではなく、今後は地域とも連携しながら、更なる協力関係に向けた取り組みに期待したい。

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様一人ひとりを尊重し、受容・共感・傾聴の姿勢を大切にしている。人生の先輩として敬意を表し、プライドやプライバシーを損ねない声かけと対応を心掛けている。声かけや対応の仕方については職員同士が互いにアドバイスを行い、ミーティングでも定期的に振り返りと反省を行っている。	職員は日頃より親しい関係が、慣れ合いにならない様、接遇の大切さを念頭に置き、言葉がけや対応に配慮し支援に取り組んでいる。また困難な事例が発生した場合には、市町に相談しアドバイスを受けながら、情報を共有し対応している。職員は、接遇（権利関係）の研修等を通じて、更なる支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	御本人様の意見は勿論、意思表示がうまく表せない利用者であっても、分かりやすい選択肢を用意するなどし、できるだけ自己決定をして頂けるような支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様一人ひとりの性格や生活習慣を尊重し、できるだけ御本人様のペースに合わせた支援と個別対応を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日着る衣服を選んで頂くことや、毛染めやパーマを希望された方には美容院に行けるように支援している。また、お化粧をされる利用者にも使用しなれた化粧品を使用していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	簡単な調理や味見、盛り付けから、食後の後片づけまで、利用者様の個々の能力に応じたことを手伝って頂いている。事業所の畑に成った野菜と一緒に収穫し、食材に利用する等、楽しく食事ができる雰囲気作りを心がけている。	日頃の食事は食材宅配を利用し、職員が調理を行いご飯と汁物は事業所が用意している。行事として手巻き寿司や、ソーメン流し等行う事もある。また、おやつクラブを設け、四季に添って、かき氷・たこ焼き・お月見だんご等を作り楽しんでいる。外食もドライブを兼ねてレストランで刺身や鯛めしを堪能している。	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>外注している食材でカロリー計算されているが、塩分や糖分、脂質には気を付けているが、味が損なわれないように心がけている。一人ひとりの状態に合わせて、普通食・粥・刻み・トロミなどの工夫を行い、摂取量は毎日管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行い、自力で難しい方は介助を行っている。口腔内の疾患がある方には、歯科医に往診での治療をして頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表にて管理し、状態把握を行っている。訴えない方でも、声かけとトイレ誘導を行い、気持ち良く過ごして頂けるように支援している。介助の際でもできるだけ残存機能を活かして頂き、難しい部分は介助を行うようにしている。</p>	<p>職員は、利用者一人ひとりの排泄の間隔を把握し、情報を共有し潜在能力を引き出しながら、無理しない支援に取り組んでいる。また居室はトイレ付きも有り、夜間職員は見守りを行いながら、排泄の自立に向けたケアに取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>チェック表にて管理し、排便状況の把握を行っている。出来るだけ自然排便を促すため、適度な運動とバランスの良い食事、水分量の確保を支援している。排便が見られない場合は、看護職員に報告、医師に相談している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本的には週2回実施。また、1・2階共に午前浴を行っている。利用者様の体調・希望に応じて好みの時間の入浴も実施している。また、その方の好みに応じた湯温調整を実施し、冬至にはゆず湯を楽しんで頂き入浴でも季節を感じて頂けるよう工夫している。</p>	<p>入浴拒否の利用者は、現段階ではない。2ユニット共に午前中入浴を実施しているが、希望が有れば応じている。浴槽に入浴剤を使用するのは勿論の事、入浴環境に於いても、入浴後の水分補給は行っているが、水分が足りない人には入浴前に飲むことも効果的である等、様々な観点から入浴支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様それぞれで休まれる時間が異なっており、訴えに合わせた就寝介助を行っている。夜間はトイレ誘導やパット交換、希望時の水分補給などを行い巡回と様子観察にて、安心して気持ちよく休んで頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方されている薬の内容や用法、効能が把握できるように一覧している。症状の変化については、経過記録に残し看護職員を通じて医師に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者様には、それぞれホームでの役割を持っていただき、意欲の向上に繋がるように支援している。個別で行うレクリエーションや趣味などの活動が楽しく続けていけるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には、職員が付き添い散歩に出かけることが多い。花や海を見て喜ばれる利用者も多く気分転換となっている。その他ドライブや買い物支援で外出をされる事もあり、ご家族の協力もあり外食や外泊をされることもある。	海が近くにあり、見慣れた環境の中で日常的には、近くで散歩を楽しんでいる。職員は利用者が望む外出を把握し、外出目的を例えば「ソフトクリームを食べに行こう」等と、ドライブに出掛け気分転換を図り、閉じこもらない暮らしに配慮しながら支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	トラブル防止の為、金銭管理は原則ご家族様をお願いしている。買い物や通院での支払いは施設が立て替えている。		

自己評価	外部評価	項目()	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話は施設のものを使用して頂いている。利用者様の中には携帯電話を使用されている方もおられる。届いた手紙は御本人に渡している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアは温度・湿度計を見ながら利用者様が過ごしやすい室温・湿度調整をし、健康管理に努めている。壁面には季節を感じて頂ける装飾や、行事での写真などを飾り室内でも季節を感じて頂ける工夫をし楽しい雰囲気作りに努めている。	利用者が多くの時間を過ごすリビングは、窓からは季節の風が通り抜け心地良い。部屋のレイアウトは皆がリラックスして話す場所、食事を楽しむ場所が自然に区別され、居心地よい暮らしぶりがある。また生け花は途切れる事なく、利用者（元講師）の手で飾り管理もされ、職員は利用者が思い思いに暮らせる様支援に努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアの一角にソファを設置しており、テレビ鑑賞される方や談話され楽しんでいる方など、くつろぎ休息されそれぞれが過ごされている。利用者様は居室とフロアを自由に行き来され、仲の良い利用者同士が居室を訪れ過ごされていることもある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族には、使慣れたものや思い出のあるものを持ち込んで頂くようお願いしている。出来るだけ住み慣れた場所に近い空間を作り、安心して過ごして頂けるように支援している。	居室は明るい日差しが入り、使い慣れた鏡台や机等が持ち込まれ、その人に合った居室造りがされている。自室で趣味を楽しんだり、知人を招き会話を楽しんだり、居心地よく暮らせるための支援がされている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置しており、利用者様が生活しやすい環境にしている。自立を促すため過剰な介護は控え、出来ることが今後も継続して行えるように見守りや声かけによる支援を行っている。		

V アウトカム項目() ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム能美いこいの里

作成日 H29年10月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の意味合いを職員での認識が薄い。	外部研修だけでなく、内部研修を行うなどし、職員で理念を共有できるようにする。	全体ミーティング等を利用して、内部研修を実施。また、外部研修にも積極的に参加する。	12ヶ月
2	35	施設内での防災訓練は実施しているものの、近隣住民の方や地域の方との連携が不足している。	地域の方との連携をとり、緊急時の防災等に備える。	地域の防災訓練に参加し、施設の協力体制を整える。また、施設内訓練の際にも近隣住民の方に声をかけ、参加して頂けるように努める。	12ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。